

『91歳おじいちゃんが語る

「ワシ、14歳で農兵隊に 行ったんやで」～農兵隊って何でしょう?』



8月15日は日本が平和を取り戻して77年目を迎えます。敗戦後、私たちは平和の恩恵を受けて経済発展と世界一の長寿国になりました。しかし、ウクライナ戦争が伝えられてからは平和を取り戻すことの難しさを実感せずにはおれません。戦争は世界各国に燃料や食料不足の問題を引き起こし、途上国では子ども達の飢えが報道されています。「福祉」のベースには平和な社会を希求する姿勢が重要なのは言うまでもありません。

そこで、豊能支部では平和を考える企画として、「元少年農兵隊」だった91歳の数市さんの体験談を仮想空間oViceにお招きして、インタビュー形式で語っていただきます。NHK朝ドラ「なつぞら」で紹介された拓北農兵隊と同様の歴史が全国でもあったようですが、歴史的資料は殆ど残されておらず、まさに、今回のお話は歴史の生き証人をお迎えする企画です。子どもたちと一緒に平和を考える時間にされてはどうでしょうか。

少年農兵隊とは

戦争末期（1944年～45年）に食料増産対策として14歳から19歳までの男子が学校長の選抜により親元を離れて、大隊長（軍隊）の管理下にある宿営地で農地開墾や灌漑土木の労働を強いられる集団生活だったと伝えられる。

日時：**8月20日(土)**13:30～16:00(休憩・質問含む)

場所：**oVice**(豊能支部バーチャルオフィス)にて

参加：**どなたでも参加OK！(無料)**

申込締切：8月19日(金)18:00



【お申し込み～参加のながれ】

- ①左のQRコードを読み込み、申込フォームへアクセス
(PC等からは、<https://ssl.form-mailer.jp/fms/ef7837b3750944>にアクセス)
- ②フォームに必要事項を入力し、申込む（招待メールが届きます）
- ③当日、招待メールに記載されたURLからご参加ください